株主の皆さまへ

株式会社 あおぞら銀行

あおぞら銀行第 92 期定時株主総会（2025 年 6 月 24 日開催）において
株主の皆さまからいただいたご質問等のご紹介について

株主の皆さまには、2025 年 6 月 24 日に開催いたしました当行第 92 期定時株主総会へのご出席およびライブ配信のご視聴をいただきまして、誠にありがとうございました。

お寄せいただきましたご質問等につきまして、以下のとおりご紹介申し上げますのでご覧ください。

今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 事前にいただきましたご質問等

本年も事前に書面やメールでご質問等を募集いたしました。しかしながら本年はこれに対するご質問等はございませんでした。

2. 株主総会においていただきましたご質問等、および、株主総会においてご紹介しましたライブ配信を視聴された株主さまからのコメント（質疑応答要旨）

(1) 会場株主さまからのご質問

(1)ー1	与信リスクの管理方針について
回答	2023 年度の反省をふまえ、リスク管理体制の強化に向けた取り組みを加速させています。リスクアペタイト・ステートメントを定めて、取るべきリスクの種類と量を社外取締役と執行部門で確認のうえ業務運営計画に反映させています。今後も経済動向は不透明であることを踏まえ、リスクをコントロールしつつ与信業務を運営し、顧客やプロジェクトのモニタリングにより適時適切に引当等の処理も行っております。

	<p>与信リスク管理には最大限の注意を払いつつ健全なリスクテイクによる収益獲得に向け、適切にリスクを取っているか、過度に取り過ぎていないかを新設のリスクガバナンス委員会で評価・審議してまいります。世界の政治経済は不透明であるものの、日本での金利正常化や経済の好循環を受けた企業の資本効率改善の動きに対して、必要な融資を提供していけるのが当行であるとの自負のもと、リスク管理体制を整え新中期経営計画で示した計数を達成していく所存です。</p>
--	--

(1)ー2	<p>① 今後の配当見通しについて ② PBR の改善策について ③ 女性の登用について</p>
回答	<p>①および② 今期は年間 88 円の配当予想としています。来年度以降は確定していませんが、収益に連動した配当性向 50%程度の運営を予定しています。新中期経営計画やその後の目標数値の達成を通じて PBR 1 倍を実現してまいりたいと考えております。 特に、国内金利正常化、コーポレートガバナンス改革の実践、GMO あおぞらネット銀行の収益貢献、大和証券グループとの提携によるビジネス機会の増加という 4 つの成長機会を捉えて利益計画を達成することで、株主さまの期待する配当水準や PBR を実現してまいりたいと考えております。</p> <p>③ 女性役員の登用については、現在取締役 9 名中女性 1 名、執行役員 24 名中女性 4 名であるものの、東証プライム市場上場企業として 2030 年にこれを 30%に引き上げるべく社内外の人材登用を検討しています。また社内女性人材プールを充実させるよう研修や意識醸成に努めつつ、性別のみならず国籍、年齢、新卒、キャリア採用など組織における多様性の拡大にも取り組んでまいりたいと考えております。役員への登用は人物・能力を重視するものの、多様性を確保した組織・役員体制を目指してまいりたいと考えております。</p>

(1)ー3	<p>社外取締役の役割と当行経営への貢献について</p>
回答	<p>執行部門に対して意見・助言をすることが社外取締役の役割であり、社外取締役が過半を占めるリスクガバナンス委員会ではリスク判断</p>

	<p>やリスク管理に緩みや異常がないか確認検証することが責務と考えています。この1年間、黒字化を達成する過程で取締役会等において社外取締役を含めて様々な議論を行った結果が昨年度の実績であり、今後に向けた方向性でもあることから、当行における社外取締役の貢献は非常に大きいと認識しています。</p>
--	---

(1)ー4	大和証券グループとの連携も含めた個人ビジネスの方向性について
回答	<p>個人のお客さまから信頼を得て、銀行の成長基盤である預金をお預かりすることが第一であり、BANK というサービスを通じ、金利は勿論、アプリの利便性、振込手数料の無料回数拡大等のサービス向上を続けています。全てのお客さまに条件なく同一のサービスを提供することが他行との差別化に繋がると考えています。加えて、高齢のお客さまを中心に資産をお持ちのお客さまに対する資産運用相談においては、大和証券グループとの協業を活かして、新たな商品・サービスを提供してまいります。</p> <p>まず預金を安心して預けていただくことを常に改善を図りながら目指しつつ、資産運用をご希望のお客さまには、様々なご要望にお応えできるよう、大和証券グループの商品取扱いを活かし、体制を拡充してまいります。</p>

(1)ー5	GMO あおぞらネット銀行における不正口座対策について
回答	<p>不正口座を開設しようという顧客は他行同様増加傾向にあるものの、同行はインターネット専門銀行として高いセキュリティーソリューションを装備しています。あおぞら銀行とも連携し対策を改善するとともに、当局や他行とも情報連携を行いながら、最重要課題として日々取り組んでおります。</p> <p>これらの犯罪対策には当局も交え金融機関で連携して実効性を上げつつ、お客さまには使い勝手よいサービスを目指してまいりますと考えております</p>

(1)ー6	知的障がいを含む障がい者雇用の現状について
回答	現時点の障がい者雇用率は 2.6%であり法定雇用率 2.5%を上回って

	<p>います。当行では採用者に体の不自由な行員および視覚や聴覚に障がいのある行員が多いものの、今後ご意見を参考にしてまいりたいと存じます。また障がいのある行員が生き生きと働ける環境を整備しており、統合報告書の障がい者の職場環境を紹介するページの作成を含めて一般行員と同じ場所で同じ業務に携わっています。また一般行員の理解を深めるために疑似体験の機会も設けています。人材の多様性と社会的責任を果たすとの観点から、障がい者雇用は重要なポイントと認識しており、今後もしっかりと取り組んでまいります。</p>
--	--

(2) ライブ配信を視聴された株主さまからのコメント（株主総会の席上でご回答したもの）

(2)ー1	四半期配当を継続する一方で経費節減をしない理由について
回答	<p>四半期配当については、当行は個人株主比率が高く安定的な配当を求められていると認識しており、長期保有いただく株式の魅力を高める取り組みの一つと位置付けております。また業況に応じてタイムリーに利益還元が可能になると考えております。経費については、IT 投資、人的投資等必要なものを効率的に行うことで増加のペースを抑えつつ、入念に確認しながら経費運営をしております。</p> <p>四半期の配当を楽しみにされている株主さまも多く、全体の経費の中で吸収していきながら、今後も総合的に検討、判断してまいります。</p>

(2)ー2	現在の株価に対する経営陣としての評価について
回答	<p>新中期経営計画を達成していくことで配当原資の利益も積み上がり、株価も上昇すると考えており、計画の達成に向けて日々の経営に取り組んでまいります。</p>

(2)ー3	インターネットバンキングのセキュリティ対策について
回答	<p>お客さまにはワンタイムパスワードなどによる多要素認証によりセキュリティを確保しています。国内でのフィッシング詐欺被害の多発も認識しており、フィッシングサイト発生に速やかに対応できるよう常時モニタリングしております。</p>

	最新の手口を常に把握しつつ、最も有効な対策をすぐに導入することが重要と考えています。
--	--

(2)-4	回収不能な貸出金額と回収強化策について
回答	回収に懸念のある債権は「金融再生法開示債権」として金額を開示しています。これらの債権については個別先ごとに状況を見極めつつ、審査部門と営業部門で連携して丁寧に対応しております。米国オフィス向け貸出については市況が不透明ながら回収は順調に進んでおります。一定の価格下落を織り込んで引当てていますので現時点で大きな追加損失は見込んでおらず、引き続き債権回収を進める方針です。 なお、当行の開示債権比率は米国オフィス向けを含め3月末現在2.14%ですが、開示債権は回収を強化した結果、残高も減少しています。

3.ライブ配信を視聴された株主さまからいただいたその他の主要なコメント

ライブ配信を視聴された株主さまからいただきました、その他の主要なコメントにつきまして、以下のとおり私どもの考え方をまとめておりますので、ご回答とさせていただきます。

当コメントは受信時刻により当日の回答には間に合わなかったものです。

3-1	メガバンクとの差別化およびメガバンクの株価上昇を見据えた株価対策について
回答	当行は、成長ドライバーである投資銀行ビジネスの推進、GMO あおぞらネット銀行の利益拡大、大和証券グループとの提携効果を通じ、新中期経営計画の達成に努め、市場評価の向上を目指しています。着実な実績を積み上げると同時に、引き続き積極的にIR活動を展開してまいります。

以 上